

2009年 9 月27日 実施

平成21年度（第41回）
情 報 処 理 検 定 試 験
〈ビジネス情報部門〉
第 1 級 筆記試験問題

注 意 事 項

1. 監督者の指示があるまで、試験問題に手を触れないでください。
2. 試験問題は 6 ページあります。
3. 解答はすべて解答用紙に記入します。
4. 電卓などの計算用具は使用できません。
5. 筆記用具などの物品の貸借はできません。
6. 問題用紙の回収については監督者の指示にしたがってください。
7. 制限時間は30分です。

主催 財団法人 全国商業高等学校協会

【1】 次の説明文に最も適した答えを解答群から選び、記号で答えなさい。

1. CPUと主記憶装置との間に置いて、CPUへデータを高速転送するために用いる記憶装置。使用頻度の高いデータを一時的に記憶しておくことにより、処理を高速化できる。
2. ディスプレイ装置に、文字や画像などを表示する処理を行う際に用いる記憶装置。この容量が、表示可能な色数や画面の解像度に関係する。
3. 印刷命令を送ってからプリンタが動き始めるまでの時間のよう、コンピュータシステムに処理を指示してから、その処理が始まるまでに要する時間。
4. ネットワークに接続されたコンピュータのIPアドレスとドメイン名を対応させる仕組み。IPアドレスとドメイン名を相互に変換して、Webサーバやメールサーバなどにアクセスできるようにする。
5. デジタル通信においてデータを送受信する際に、データを一定のサイズに分割したもの。送信先のアドレス、誤りの検出や訂正をするための情報を付加しており、インターネットや携帯電話の通信に用いられている。

解答群

ア. BIOS	イ. レスポンスタイム	ウ. ターンアラウンドタイム
エ. ディスクキャッシュ	オ. FTP	カ. DHCP
キ. スループット	ク. ゲートウェイ	ケ. VRAM
コ. DNS	サ. キャッシュメモリ	シ. パケット

【2】 次の文の（ 1 ）から（ 5 ）に最も適した答えを解答群から選び、記号で答えなさい。

インターネットで送受信されるデータは、第三者に内容を知られないようにするために暗号化が必要な場合がある。暗号化の方法には、暗号化と復号に異なる鍵を用いる（ 1 ）暗号方式と、同一の鍵を用いる（ 2 ）暗号方式の2種類がある。前者は電子商取引において、データが通信の途中で改ざんされていないことや、なりすましではないことを証明するための電子署名の技術として利用されている。

Webサーバとブラウザの間で、HTMLファイルやユーザの入力情報をやりとりする際に利用するプロトコルは（ 3 ）である。オンラインショッピングやインターネットバンキングなど、個人情報の送信が必要なWebサービスを利用する際は、利用者側のブラウザと企業側のWebサーバとの間でやりとりされる情報を暗号化するために、このプロトコルに（ 4 ）機能を付加したプロトコルである（ 5 ）を利用する。この機能は、携帯電話による通信でも一般的なものとなっている。

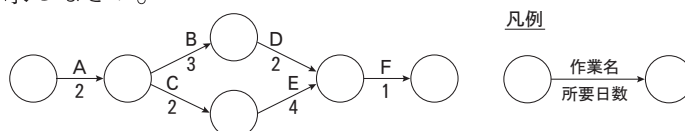
解答群

ア. サブネットマスク	イ. SSL	ウ. MIME
エ. 共通鍵	オ. SMTP	カ. フィルタリング
キ. HTTPS	ク. CGI	ケ. XML
コ. 公開鍵	サ. ホストアドレス	シ. HTTP

【3】 次の説明文に最も適した答えをア、イ、ウの中から選び、記号で答えなさい。

1. プリンタの印刷用紙やインク等の消耗品費など、コンピュータシステムの運用にかかる費用。
ア. ブレーンストーミング イ. アトリビュート ウ. ランニングコスト
2. データベース設計の初期段階で、業務内容を分析して必要なデータや管理方法を検討する作業。
ア. 物理設計 イ. 論理設計 ウ. 概念設計
3. 一定期間における売上の傾向を長期的に分析する際に用いるためのグラフ。グラフの要素として、各月の売上、売上の累計、移動合計値（過去1年分の売上累計）の3つを用いる。
ア. ヒストグラム イ. Zグラフ ウ. レーダーチャート
4. 次の図は、ある仕事の作業工程と各作業に必要な日数を表したパート図である。この仕事が完了するまでにかかる最短の所要日数を求めなさい。

- ア. 4日間
イ. 9日間
ウ. 14日間



5. 校内のファイルサーバから100MBのデータをダウンロードするのに2秒かった。通信速度が1Gbpsの回線を用いている場合、この回線の伝送効率を求めなさい。なお、外部要因は考えないものとする。
ア. 40% イ. 50% ウ. 80%

【4】 次の各問いに答えなさい。

問1. 元金¥200,000を、半年複利で年利率1% 5年間預けた場合、満期額を求める次の式の空欄にあてはまる式または数値を答えなさい。

=FV(, 5*2, 0, -200000)

問2. ある公民館では、図書室における書籍の配置場所を検索するために、次の表を用いている。A5に書籍名を入力すると、B7に配置場所が表示される。該当する書籍がない場合は、該当書籍なし と表示する。B7に設定する次の式の空欄にあてはまる関数を記号で答えなさい。

	A	B	C
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			

=IF((VLOOKUP(A5,A10:B7000,2,FALSE)), "該当書籍なし", VLOOKUP(A5,A10:B7000,2,FALSE))

- ア. MATCH
- イ. SEARCH
- ウ. ISERROR

問3. 次の表は、あるクイズ大会での予選の通過を判定する予選結果一覧表である。E4には、予選通過の判定をするための次の式が設定されている。この式をE11までコピーしたとき、E列に表示される 通過 の数を記号で答えなさい。

	A	B	C	D	E
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					

=IF(OR(D4>=LARGE(\$D\$4:\$D\$11,2), AND(OR(B4=MAX(\$B\$4:\$B\$11), C4=MAX(\$C\$4:\$C\$11)), D4>=170)), "通過", "")

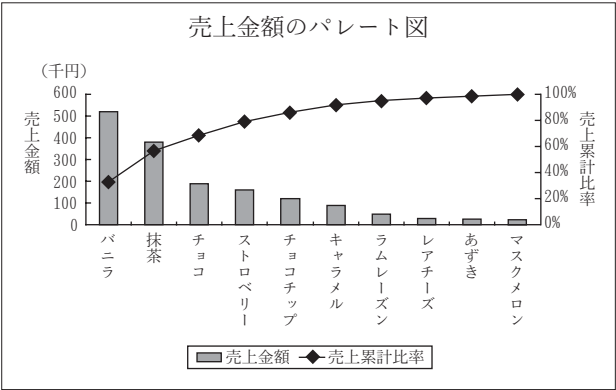
- ア. 4
- イ. 5
- ウ. 6

問4. ある高校では、2年生の夏休みに短期留学を実施している。次の表は毎月の積立金を求める早見表である。1年生の9月に申込金として費用の一部を、残金は翌月の10月から2年生の7月まで毎月（計10回）積み立てている。申込金と積立金の合計金額が留学費用を満たす場合は○、満たさない場合は×を表示する。C8に設定する式として適切なものを選び、記号で答えなさい。ただし、この式をG12までコピーするものとする。

	A	B	C	D	E	F	G
1							
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							

- ア. =IF(\$B8+C\$7*10>=\$C\$4, "○", "×")
- イ. =IF(B\$8+C\$7*10>=\$C\$4, "○", "×")
- ウ. =IF(\$B8+\$C7*10>=\$C\$4, "○", "×")

問5. 次のグラフは、あるアイスクリーム店における1か月間の商品ごとの売上金額とその売上累計比率をグラフにしたものである。このグラフを利用して行う分析として適切なものを選び、記号で答えなさい。



- ア. 回帰分析
- イ. ABC分析
- ウ. クリティカルパス

【5】 次の表は、ある印刷会社における年賀状印刷の料金計算表である。処理条件にしたがって、各問いの答えをア、イ、ウの中から選び、記号で答えなさい。なお、問5については数値を答えなさい。

シート名「計算表」

	A	B	C	D	E	F
1						
2		年賀状印刷料金計算表				
3		入力欄			出力欄	
4	受付日	11月12日			受付中	
5						
6				仕上日	11月15日	
7						
8	種類コード	2		種類	カラー	
9	枚数	240				
10						
11	割増コード	LSG		割増率	1	0.2
12				割増率	2	0.1
13				割増率	3	0.1
14				割増率	4	
15				割増率合計		0.4
16						
17	引渡コード	1		引渡方法	郵送	
18						
19				基本料金		6,000
20				割増料金		2,400
21				早割(20%)		1,680
22				印刷料金		6,720
23				引渡料金		350
24				請求額		7,070

シート名「割増率表」

	A	B	C
1			
2	割増率表		
3	割増コード	割増率	割増内容
4	S	0.1	写真加工
5	L	0.2	レイアウト
6	G	0.1	ロゴ
7	A	0.3	宛名印刷

シート名「価格表」

	A	B	C	D	E
1					
2	価格表		種類コード		
3			1	2	3
4		枚数	モノクロ	カラー	キャラクター
5		1～10	1,130	1,360	2,040
6		11～30	3,040	3,650	5,480
7		31～50	3,300	3,900	5,900
8		51～70	3,360	4,030	6,050
9		71～100	3,600	4,320	6,480
10		101～150	4,000	4,800	7,200
11		151～200	4,500	5,400	8,100
12					
13		201～10枚ごとに加算	100	150	240

(注) 本日は、2009年11月12日とする。

処理条件

- シート名「計算表」のB8、B9、B11、B17に適切なデータを順に入力すると、請求額を求めることができる。
- シート名「計算表」は、次のように作成されている。
 - B4の「受付日」は、本日の日付を自動的に表示するために、TODAY関数が入力されている。
 - F4は、「受付日」が12月24日までは 受付中、25日以降は 受付終了 を表示する。
 - F6の「仕上日」は、「受付日」から3日後の日付を表示する。ただし、水曜日が定休日のため、「仕上日」が水曜日の場合は、定休日の翌日の日付を表示する。
 - B8の「種類コード」は、モノクロは 1、カラーは 2、キャラクターは 3 を入力する。
 - F8の「種類」は、B8の「種類コード」をもとに、シート名「価格表」を参照して表示する。
 - B9の「枚数」は、印刷する枚数を入力する。
 - B11の「割増コード」は、次の割増コード表にある必要な割増コードを順不同で入力する。なお、必要がなければ何も入力しない。

割増コード表

割増コード	割増内容
S	写真加工
L	レイアウト
G	ロゴ
A	宛名印刷

- F11～F14の「割増率」は、「割増コード」をもとに、シート名「割増率表」を参照して表示する。
- F15の「割増率合計」は、F11～F14を合計して求める。
- B17の「引渡コード」は、郵送の場合は 1、店頭渡しの場合は 0 を入力する。
- F17の「引渡方法」は、B17が 1 であれば 郵送、0 であれば 店頭渡し を表示する。
- F19の「基本料金」は、B8の「種類コード」とB9の「枚数」をもとに、シート名「価格表」を参照して求める。
- F20の「割増料金」は、「基本料金」にF15の「割増率合計」を掛けて求める。
- F21の「早割(20%)」は、「受付日」が11月24日までであれば、「基本料金」と「割増料金」の合計に20%を掛けて求める。なお、11月25日以降であれば 0 を表示する。
- F22の「印刷料金」は、「基本料金」と「割増料金」の合計から「早割(20%)」を引いて求める。
- F23の「引渡料金」は、「引渡コード」が 1 であれば 350、0 であれば 0 を表示する。
- F24の「請求額」は、「印刷料金」と「引渡料金」を合計して求める。

問 1. シート名「計算表」の F 4 に設定する式を答えなさい。

- ア. =IF(AND(MONTH(B4)>11, DAY(B4)>=24), "受付中", "受付終了")
- イ. =IF(AND(MONTH(B4)<=12, DAY(B4)<24), "受付中", "受付終了")
- ウ. =IF(AND(MONTH(B4)>11, DAY(B4)>24), "受付終了", "受付中")

問 2. シート名「計算表」の F 6 に設定する式の空欄にあてはまる適切なものを答えなさい。

=IF(F4="受付中", IF(), "")

- ア. WEEKDAY(B4+3, 2)=3, B4+4, B4+3
- イ. WEEKDAY(B4+3, 2)=3, B4+3, B4+4
- ウ. WEEKDAY(B4+3, 2)=7, B4+4, B4+3

(注) WEEKDAY関数の第 2 引数が 2 の場合, 戻り値として, 1 (月曜日) ~ 7 (日曜日) を返す。

問 3. シート名「計算表」の F 11 に設定する式の空欄(a), (b)にあてはまる適切なものを答えなさい。ただし, この式を F 14 までコピーするものとする。

=IF((a), INDEX(割増率表!\$A\$4:\$B\$7, MATCH((b), 割増率表!\$A\$4:\$A\$7, 0), 2), "")

- ア. (a) LEN(B\$11)>E11 (b) MID(E\$11, B11, 1)
- イ. (a) LEN(B\$11)>=E11 (b) MID(B\$11, E11, 1)
- ウ. (a) LEN(B\$11)>=E11 (b) LEFT(B\$11, 1)

問 4. シート名「計算表」の F 19 に設定する式の空欄にあてはまる適切なものを答えなさい。

=IF(B9<=200, VLOOKUP(B9, 価格表!A5:E11, B8+2, TRUE),
INDEX(価格表!C11:E11, 1, B8)+(*INDEX(価格表!C13:E13, 1, B8)))

- ア. ROUNDUP((B9-198)/10, 0)
- イ. ROUNDUP((B9-199)/10, 0)
- ウ. ROUNDUP((B9-200)/10, 0)

問 5. シート名「計算表」に, 次のようにデータを入力したとき, F 24 の「請求額」に表示される数値を答えなさい。

	A	B	C	D	E	F
1						
2						
3						
4	受付日	12月20日				出力欄 受付中
5						
6				仕上日		12月24日
7						
8	種類コード	1		種類		※
9	枚数	110				
10						
11	割増コード	GS		割増率 1		※
12				割増率 2		※
13				割増率 3		※
14				割増率 4		※
15				割増率合計		※
16						
17	引渡コード	1		引渡方法		※
18						
19				基本料金		※
20				割増料金		※
21				早割(20%)		※
22				印刷料金		※
23				引渡料金		※
24				請求額		※

(注) ※印は, 値の表記を省略している。

【6】 ある会社では、所有している備品を次のようなリレーショナル型データベースを利用して管理している。次の各問いの答えをア、イ、ウの中から選び、記号で答えなさい。

作業の流れ

- ① 備品を購入すると、管理表に入力する。
- ② 管理表に入力した備品には、右記のような「備品管理票」を貼付する。
 なお、管理番号は、個々の備品を識別するための一意の番号であり、管理表への入力時に割り振る。

(所有している備品に貼付する管理票)

備品管理票	
管理番号	M10015
部署名	財務課
取得日	20040910
分類名	デスクトップ型パソコン
型式名	THP-2501-21J

〇〇株式会社

部署表

部署コード	部署名
}	}
S104	財務課
S105	経理課
S106	人事課
}	}
S109	総務課
S201	営業1課
S202	営業2課
S203	販売促進課
}	}
S301	開発課
S302	広報課
}	}

分類表

分類コード	分類名
}	}
K1008	ホワイトボード
K1009	保管庫
K1010	シュレッダー
}	}
K2011	デスクトップ型パソコン
K2012	ノート型パソコン
K2013	レーザープリンタ
K2014	インクジェットプリンタ
}	}
K3011	デジタルカメラ
K3012	液晶プロジェクタ
}	}

管理表

管理番号	取得日	分類コード	型式名	部署コード	購入先名	購入金額
}	}	}	}	}	}	}
M10015	20040910	K2011	THP-2501-21J	S104	中島商会	138000
M10016	20040910	K2011	THP-2501-51J	S105	中島商会	157000
}	}	}	}	}	}	}
M10753	20060110	K2012	PCV-352i	S201	中島商会	214800
M10754	20060110	K2012	PCV-352i	S201	中島商会	214800
M10755	20060110	K2012	PCV-352i	S202	中島商会	214800
M10756	20070711	K2013	EPR5000z	S302	馬場商事	188000
M10757	20070711	K3011	Cz2213	S301	馬場商事	52500
M10758	20070806	K1008	N11-7001	S109	永岡商店	73500
M10759	20070810	K2014	IJC900H	S106	馬場商事	34150
}	}	}	}	}	}	}

(注) 管理表の「取得日」は、8けたの文字を用いる。

例：20040910 は2004年9月10日を表す。

問1. 管理番号が M10015 の備品を管理表から削除する場合、空欄(a), (b)にあてはまる適切な組み合わせを答えなさい。

(a) FROM 管理表 (b) 管理番号 = 'M10015'

- | | |
|---------------|------------|
| ア. (a) UPDATE | (b) SET |
| イ. (a) DELETE | (b) VALUES |
| ウ. (a) DELETE | (b) WHERE |

問 2. 営業 2 課が所有している備品の一覧表を作成する場合、空欄にあてはまる適切なものを答えなさい。ただし、分類コードの昇順、同一分類の中では取得日の古い順に並べ替える。

分類コード	分類名	型式名	取得日	管理番号
}	}	}	}	}
K2011	ノート型パソコン	PCV-352i	20060110	M10755
K2011	ノート型パソコン	PCV-552k	20071002	M10801
K2014	インクジェットプリンタ	IJC900H	20071002	M10802
}	}	}	}	}

```

SELECT  分類表.分類コード,分類名,型式名,取得日,管理番号
FROM    分類表,管理表
WHERE   分類表.分類コード = 管理表.分類コード
        AND  部署コード = 'S202'
ORDER BY  
```

- ア. 取得日 ASC, 分類表.分類コード ASC
- イ. 分類表.分類コード ASC, 取得日 DESC
- ウ. 分類表.分類コード ASC, 取得日 ASC

問 3. 型式名が PCV-352i であるノート型パソコンを、所有している部署名と台数を求める場合、空欄にあてはまる適切な組み合わせを答えなさい。

```

SELECT  部署名,COUNT(*) AS 台数
FROM    管理表,部署表
WHERE   管理表.部署コード = 部署表.部署コード
        
```

部署名	台数
営業 1 課	2
営業 2 課	1
}	}

- ア. AND 型式名 = 'PCV-352i' GROUP BY 部署名
- イ. GROUP BY 部署名 AND 型式名 = 'PCV-352i'
- ウ. GROUP BY 部署名 HAVING 型式名 = 'PCV-352i'

問 4. 2008 年（2008 年 1 月 1 日から 2008 年 12 月 31 日まで）に購入した備品の購入金額合計を購入先別に作成する場合、空欄にあてはまる適切なものを答えなさい。

```

SELECT  購入先名,SUM(購入金額) AS 購入金額合計
FROM    管理表
WHERE   管理表.
GROUP BY  購入先名
        
```

購入先名	購入金額合計
小泉産業	4266300
加藤事務機	597000
}	}

- ア. 取得日 <= '20080101' AND 取得日 >= '20081231'
- イ. 取得日 LIKE '2008%'
- ウ. 取得日 BETWEEN '20071231' AND '20090101'

問 5. 管理表から購入先名を分離して新たに購入先表を作成し、テーブル構成を次のように変更した。リレーショナル型データベースにおけるこの作業の名称として最も適切なものを答えなさい。

管理表

管理番号	取得日	分類コード	型式名	部署コード	購入先コード	購入金額
------	-----	-------	-----	-------	--------	------

購入先表

購入先コード	購入先名
--------	------

- ア. 正規化
- イ. 排他制御
- ウ. デッドロック

(平成21年 9 月27日実施)

主催 財団法人 全国商業高等学校協会

平成21年度（第41回）情報処理検定試験ビジネス情報部門 第1級 筆記 解 答 用 紙

【1】	1	2	3	4	5

【2】	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)

【3】	1	2	3	4	5

【4】	問 1	問 2	問 3	問 4	問 5

【5】	問 1	問 2	問 3	問 4	問 5

【6】	問 1	問 2	問 3	問 4	問 5

試 験 場 校 名	受 験 番 号

得 点 合 計

(平成21年 9 月27日実施)

主催 財団法人 全国商業高等学校協会

平成21年度（第41回）情報処理検定試験ビジネス情報部門 第1級 筆記

審 査 基 準

【1】	1	2	3	4	5	各2点 計10点
	サ	ケ	イ	コ	シ	

【2】	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	各3点 計15点
	コ	エ	シ	イ	キ	

【3】	1	2	3	4	5	各3点 計15点
	ウ	ウ	イ	イ	ア	

【4】	問1	問2	問3	問4	問5	各4点 計20点
	0.01/2	ウ	ア	ア	イ	

※「1%/2」のような式,「0.005」,「0.5%」の数値も可。

【5】	問1	問2	問3	問4	問5	各4点 計20点
	ウ	ア	イ	ウ	5,150	

※「,」なしも可。

【6】	問1	問2	問3	問4	問5	各4点 計20点
	ウ	ウ	ア	イ	ア	

試 験 場 校 名	受 験 番 号

得 点 合 計
100

2009年 9 月27日 実施

平成21年度（第41回）
情 報 処 理 検 定 試 験
〈ビジネス情報部門〉
第 1 級 実技試験問題

注 意 事 項

1. 監督者の指示があるまで、試験問題に手を触れないでください。
2. 監督者の指示にしたがって、シート 4 の A 1 のセルに受験番号を入力してください。
3. 試験問題は 2 ページあります。
4. 問題用紙の回収については監督者の指示にしたがってください。
5. 制限時間は30分です（印刷時間は含みません）。
6. 印刷は監督者の指示にしたがって、シート 4 を 1 ページで印刷してください。

主催 財団法人 全国商業高等学校協会

ある市では祭りの企画の一つとして、郷土料理コンテストを開催したが、支出が収入を超えたため、今回のコンテストに向けて運営収支シミュレーションを行うことになった。処理条件にしたがって、シート1からシート4を作成しなさい。なお、各シートの※印の部分は資料をもとに入力し、※※印部分は関数やアプリケーションソフトのデータ集計・分析機能などを利用して作成すること。

資料1

ポイントランク表

ポイント	ランク
0～39点	0
40～59点	1
60～80点	2

(注)ポイントは80点満点である。

総合評価基準表

評価基準	総合評価
0	銅
1～3	銀
4	金

(注)
金…レシピ、調理ともランクが2
銅…レシピ、調理ともランクが0
銀…それ以外

資料2 集計データ

参加番号	レシピポイント	調理ポイント
1	39	80
2	51	30
3	37	30
}	}	}
261	39	80
262	71	70

資料3

参加料……………800円
運営費……………200,000円
認定カード作成費用
金…100円、銀…80円、銅…60円

処理条件

- 表の形式および体裁は、次ページのシート1からシート4を参考にして設定する。
設定する書式：罫線、列幅、数値につける3けたごとのコンマ
- シート1は、次のように作成する。
「ポイントランク表」「総合評価基準表」の※印の部分は、資料1のデータを入力する。なお、数値は半角である。
- シート2は、次のように作成する。
 - 検定試験開始前に提供されたデータを使用する。
 - D列の「レシピランク」とE列の「調理ランク」の※※印の部分は、B列の「レシピポイント」とC列の「調理ポイント」をもとに、シート1の「ポイントランク表」を参照してそれぞれ表示する。
 - F列の「評価基準」は、D列の「レシピランク」とE列の「調理ランク」の合計を求める。
 - G列の「総合評価」は、F列の「評価基準」をもとにシート1の「総合評価基準表」を参照して表示する。
- シート3は集計作業用シートで、シート4の作成に必要なデータを集計するために、自由に利用する。
- シート4は、次のように作成する。
 - 「1. ポイント分布表」は、次のように作成する。
 - D列の「レシピ人数」とE列の「調理人数」は、C列の「ランク」の数値と一致する数値を、シート2のD列の「レシピランク」およびE列の「調理ランク」よりそれぞれカウントする。
 - F列の「合計」は、D～E列の合計を求める。
 - 9行目の「合計」は、6～8行目までの合計を求める。
 - 「2. 総合評価集計表」は、次のように作成する。
 - C13～E16は、シート3から必要な部分をコピーして、値を貼り付ける。ただし、C13～D16は、小数第1位まで表示する。
 - F列の「割合」は、E16の「総計」に対するE13～E15の「評価別人数」の割合をそれぞれ求める。ただし、%表示で小数第1位まで表示する。
 - 「3. 運営収支シミュレーション」は、次のように作成する。
 - 資料3をもとに、C20は「参加料」、C22は「運営費」、D22～F22は各認定カードの作成費用を入力する。
 - D20「収入合計」は、次の式を入力しておく。
「参加料 × 参加人数」
D20の設定例：C20*G28
 - G22の「支出合計」は、次の式を入力しておく。
「運営費 + 金カード × 金人数 + 銀カード × 銀人数 + 銅カード × 銅人数」
G22の設定例：C22+D22*D28+E22*E28+F22*F28
 - G28の「参加人数」は初期値として 0 を入力しておく。
 - D28の「金人数」は、「参加人数 × 金の割合」の式を入力しておく。ただし、整数未満を四捨五入する。なお、この式の金の割合とは、2. 総合評価集計表の金の「割合」である。
D28の設定例：G28*F13
 - E28の「銀人数」とF28の「銅人数」も⑤と同様に求める。
 - D20は、G28が整数、D20がG22以上である値で最小になるようにアプリケーションソフトのデータ分析機能を利用して求める。
設定例 目的セル：D20 目標値：最小値 変化させるセル：G28
制約条件：G28は整数、G28は 0 以上、D20はG22以上
 - グラフは、「2. 総合評価集計表」から作成する。
 - グラフの※※印の部分は、表に入力された数値を表示する。
 - グラフの数値軸目盛は、最小値 (0.0)、最大値 (80.0) および間隔 (10.0) を設定する。
 - グラフの第2数値軸目盛は、最小値 (0.0%)、最大値 (100.0%) および間隔 (10.0%) を設定する。
 - シート4を報告書として、1ページにおさまるように調節する。

	A	B	C
1			
2	ポイントランク表		
3	ポイント	ランク	
4	0～39	※※	
5	40～59	※※	
6	60～80	2	
7			
8	総合評価基準表		
9	評価基準	総合評価	
10	0	※※	
11	1～3	※※	
12	4	金	

(シート1)

	A	B	C	D	E	F	G
1							
2	集計データ						
3	参加番号	レシピポイント	調理ポイント	レシビランク	調理ランク	評価基準	総合評価
4	1	39	80	0	※※	2	銀
5	2	51	30	※※	0	1	※※
6	3	37	30	※※	※※	0	銅
7	}	}	}	}	}	}	}
264	261	39	80	※※	2	2	※※
265	262	71	70	2	2	4	金

(シート2)

	A	B	C	D	E
1					
2		総合評価			
3	データ	金	銀	銅	総計
4	平均 / レシビポイント	※※	※※	33	※※
5	平均 / 調理ポイント	※※	58.00699301	※※	※※
6	データの個数 / 参加番号	92	※※	※※	※※

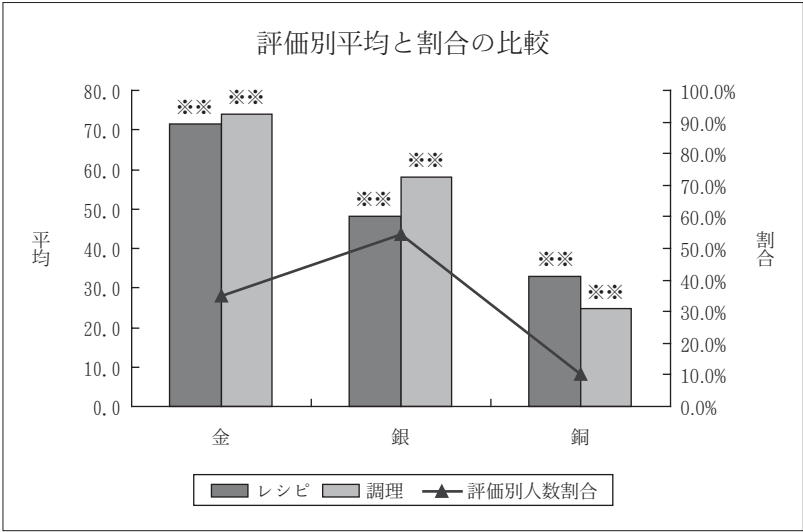
(シート3の利用例)

	A	B	C	D	E	F	G
1							
2	郷土料理コンテスト分析表						
3							
4	1. ポイント分布表						
5		ポイント	ランク	レシビ人数	調理人数	合計	
6		0～39	0	※※	※※	※※	
7		40～59	1	68	※※	107	
8		60～80	2	※※	170	※※	
9		合計		※※	262		
10							
11	2. 総合評価集計表						
12			レシビ平均	調理平均	評価別人数	割合	
13		金	※※	※※	92	※※	
14		銀	※※	58.0	※※	54.6%	
15		銅	33.0	※※	※※	※※	
16		総計	※※	※※	※※		
17							
18	3. 運営収支シミュレーション						
19		収入	参加料	収入合計			
20			800	※※			
21		支出	運営費	金カード	銀カード	銅カード	支出合計
22			200,000	100	80	60	※※
23							

収入が支出を超えるために必要な参加人数を求める。

金銀銅の割合を今回と同等とした場合の人数は次のとおりである。

金人数	銀人数	銅人数	参加人数
※※	※※	※※	※※



(シート4)

主催 財団法人 全国商業高等学校協会

平成21年度（第41回）情報処理検定試験ビジネス情報部門 第1級 実技
審 査 基 準

A	B	C	D	E	F	G
---	---	---	---	---	---	---

1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20
21
22
23
24
25
26
27
28
29
30
31
32
33
34
35
36
37
38
39
40
41
42
43
44
45
46
47
48
49
50
51

郷土料理コンテスト分析表

1. ポイント分布表

ポイント	ランク	レシピ人数	調理人数	合計
0～39	0	73	53	126
40～59	1	68	39	107
60～80	2	121	170	291
合計		262	262	

2. 総合評価集計表

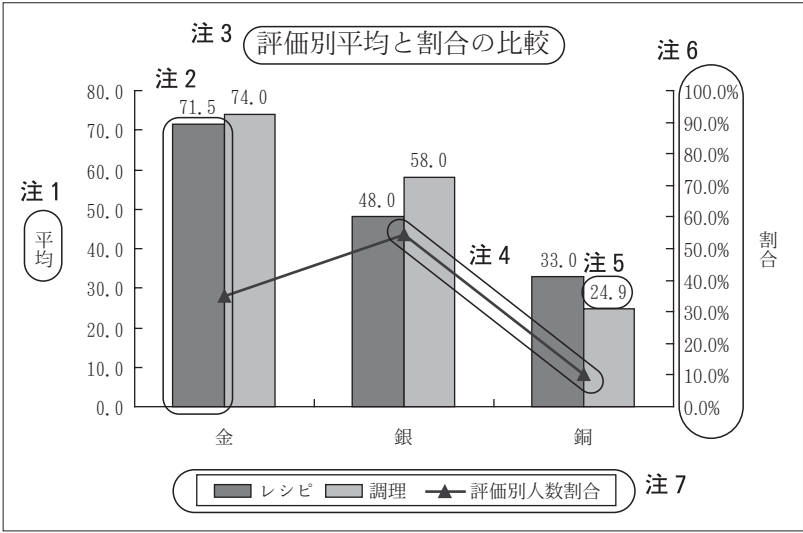
	レシピ平均	調理平均	評価別人数	割合
金	71.5	74.0	92	35.1%
銀	48.0	58.0	143	54.6%
銅	33.0	24.9	27	10.3%
総計	54.7	60.2	262	

3. 運営収支シミュレーション

収入	参加料	収入合計			
	800	224,000			
支出	運営費	金カード	銀カード	銅カード	支出合計
	200,000	100	80	60	223,780

収入が収支を超えるために必要な参加人数を求める。
金銀銅の割合を今回と同等とした場合の人数は次のとおりである。

金人数	銀人数	銅人数	参加人数
98	153	29	280



配点

- ①表の作成（ ）の箇所） 5点×12箇所＝60点
注 罫線は含まない。数値は、3けたごとにコンマをつけていること。
- ②罫線 2. 総合評価集計表 5点× 1箇所＝ 5点
- ③グラフの作成（ ）の箇所） 5点× 7箇所＝35点
注1 数値軸ラベルは、方向、文字および位置（グラフの左側）が正しく設定されていること。
注2 金が縦棒グラフになっていれば正解とする。（位置は問わない）
注3 グラフタイトルは、文字および位置（グラフの上側）が正しく設定されていること。
注4 マーカーが付けられた折れ線グラフになっていれば正解とする。（位置は問わない）
注5 データラベルの値（24.9）が正しく設定されていること。
注6 第2数値軸目盛は、最小値（0.0%）最大値（100.0%）および間隔（10.0%）が正しく設定されていること。
注7 凡例は、位置（グラフの下側）および文字が正しく設定されていること。（左右の順序は問わない）
- ※ 審査にあたっては、「審査上の注意事項」をあわせて参照してください。